

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2002-510729(P2002-510729A)

【公表日】平成14年4月9日(2002.4.9)

【出願番号】特願2000-542385(P2000-542385)

【国際特許分類】

C 08 J	5/18	(2006.01)
B 32 B	27/32	(2006.01)
C 08 L	23/08	(2006.01)
C 08 L	25/04	(2006.01)
C 08 L	67/00	(2006.01)
C 08 L	77/00	(2006.01)

【F I】

C 08 J	5/18	
B 32 B	27/32	Z
C 08 L	23:08	
C 08 L	25:04	
C 08 L	67:00	
C 08 L	77:00	

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 0.92 g / cm³未満の密度を有するポリオレフィンエラストマーを含む連続弾性相、および

フィルムが異方性弾性を示すように前記連続相内で配向する不連続相を含む異方性フィルム。

【請求項2】 前記ポリオレフィンエラストマーが、ポリエチレンおよび1つ以上のコモノマーから成るモノマー単位から誘導されるポリマーを含む請求項1に記載のフィルム。

【請求項3】 前記ポリオレフィンエラストマーが、25 %未満の永久歪みを有する請求項1に記載のフィルム。

【請求項4】 前記不連続相が、前記連続相内に纖維状レジームを含む請求項1に記載のフィルム。

【請求項5】 前記纖維状レジームが、実質的に平行な方向に配向する請求項4に記載のフィルム。

【請求項6】 前記不連続纖維が、ポリスチレン、ポリアミド、ポリエステル、およびそれらの混合物から成る群より選択される材料から構成される請求項5に記載のフィルム。

【請求項7】 前記フィルムが100重量部のフィルムを基準にして、20 ~ 30重量部の不連続相を含む請求項6に記載のフィルム。

【請求項8】 前記フィルムが縦方向に、5 ~ 15 %の伸びの範囲の降伏点および少なくとも6ニュートンのF10力を有する請求項1に記載のフィルム。